

第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

イベント名	福岡都市圏での雨水・再生水利用による節水システム
主催者	株式会社建設技術研究所
開催日	2007年12月 <input checked="" type="checkbox"/> 1日 <input checked="" type="checkbox"/> 2日 <input checked="" type="checkbox"/> 3日 <input checked="" type="checkbox"/> 4日 <input type="checkbox"/> 5日
開催時間	9:00~19:00
開催場所	<input checked="" type="checkbox"/> 別府市内 <input type="checkbox"/> 大分県内 <input type="checkbox"/> その他
会場名	別府市 ビーコンプラザ
参加人数	名

開催概要（900字以内）

12月1日～4日に開催されたオープンイベントにおいて、「福岡都市圏での雨水・再生水利用による節水システム」についてブースでのパネル展示を行った。

パネル展示では、社会的・自然的条件から渇水の危険性が高い福岡都市圏を中心とした九州北部地域での節水への取り組み事例として、当社（株式会社建設技術研究所）の九州支社自社ビルであるCTI福岡ビル内で構築されている雨水・再生水の利用による節水システムを紹介し、同様のシステムを福岡ビジネス地区におけるオフィスビルに適用した場合、東京ドーム1杯分に相当する節水が期待できることをアピールした。

アジア各国からの水サミット参加者をはじめとして、国内外の研究者や一般の方等、多くの方々が当社のブースを来訪し、アジア・太平洋地域の共通の課題である渇水に対して熱心な質問・議論が行われた。



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

日本水フォーラムに期待すること（600字以内）

日本水フォーラムは、世界中の種々の水問題（水供給、水害、食料問題等）に対して、国際的な視野からシンポジウムの開催、人材育成・啓発活動、水基金の設立等積極的に展開していると思う。しかし、自国の水問題（飲料水の確保、洪水・高潮、閉鎖性水域・河川の水質汚濁等）でさえ、100%安全・安心というレベルまで至っていないという現状を鑑みると、水問題の解決に向けて、子供のころから夢を持たせ、意識させるような仕掛け作りをしていただき、より多くの人材を世界に向けて育成してほしい。

その他（オープンイベントを開催した感想、今後の予定など、600字以内）

日本を含むアジア太平洋地域の36の国・地域が参加した第1回アジア・太平洋水サミットでオープンイベントを開催し、参加者との議論を通じて、改めて水問題を克服することの困難さ・複雑さを学ぶとともに、問題解決へのヒントも得ることができたように思う。今後もこのような機会があれば積極的に参加して行きたいと考えている。

